

「肥銀コンピュータサービスDX計画」

- お客様、地域、社員とともに、より良い未来を創造する「地域価値共創グループ」を目指し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

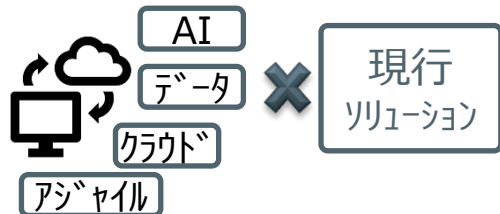
九州フィナンシャルグループ中計

ビジョン デジタル技術によるお客様・地域への新たな価値提供の挑戦を通じ成長し続ける企業

目指す姿

新たな体験・サービスの提供

ビジネスモデルの抜本的改革

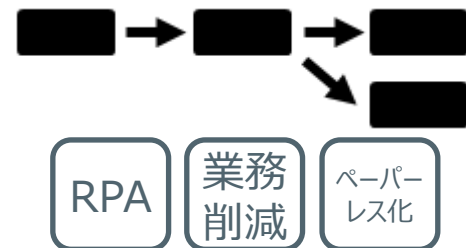


プロセス改革による生産性向上

デジタルソリューションを担う人材
獲得・育成



プロセス改革による生産性向上



持続可能な地域社会への貢献

(DXを通じて地域を変える)

➤ デジタル技術の活用を通じて、新たな体験・サービスを提供するとともに、プロセス変革による生産性向上により、地域DXの持続的発展に貢献してまいります。

新たな体験・サービスの提供

R & D

AI・データ分析	IOT
クラウド	情報セキュリティ

新商品・サービスの提供

ITコンサル	サブスクモデル
クラウド事業	環境変化適応

地域社会のDX

デジタルプラットフォーム整備
グループ会社連携による支援

地域DX
貢献

お客様
DX支援

企業文化
を变革

プロセス変革による生産性向上

DX推進人材育成

スキル再定義	制度改定
他社提携	採用戦略

業務効率化

プロセス改革	RPA
本社移転	働き方改革

業務運営力強化

営業管理	プロマネ
フロー見直し	リスク管理

不確実性の増大

コロナウイルス	自然災害の続発
急速な技術革新	少子高齢化

現状の課題

システムのレガシー化	人材不足
ビジネスモデル劣化	環境変化への即応性

- 当社が目指す姿に対し、中期経営計画（'21~'23年）にて、お客様・地域への新たな価値提供に繋がるDX施策を計画しています。

新たな体験・サービスの提供

R&D取組強化

- ・AI、スマホアプリ技術等のノウハウ吸収
- ・DX効果の高い商品について社内試験導入
- ・クラウド利用先のデータ分析活用

新商品・サービスの提供

- ・環境変化に適応したサービスの提供
- ・サブスクモデルのサービス展開
- ・コンサルデータ分析による商品の展開

地域社会のDX

- ・持続可能なデジタルプラットフォームの構築を地域で活用
- ・グループ会社連携による地域企業へのDX支援

プロセス変革による生産性向上

DX推進人材育成

- ・役割に応じた修得すべきDX推進人材の定義
- ・社員へのIT教育や、適材適所な人員配置
- ・他社との提携や採用強化等の人事戦略

業務効率化

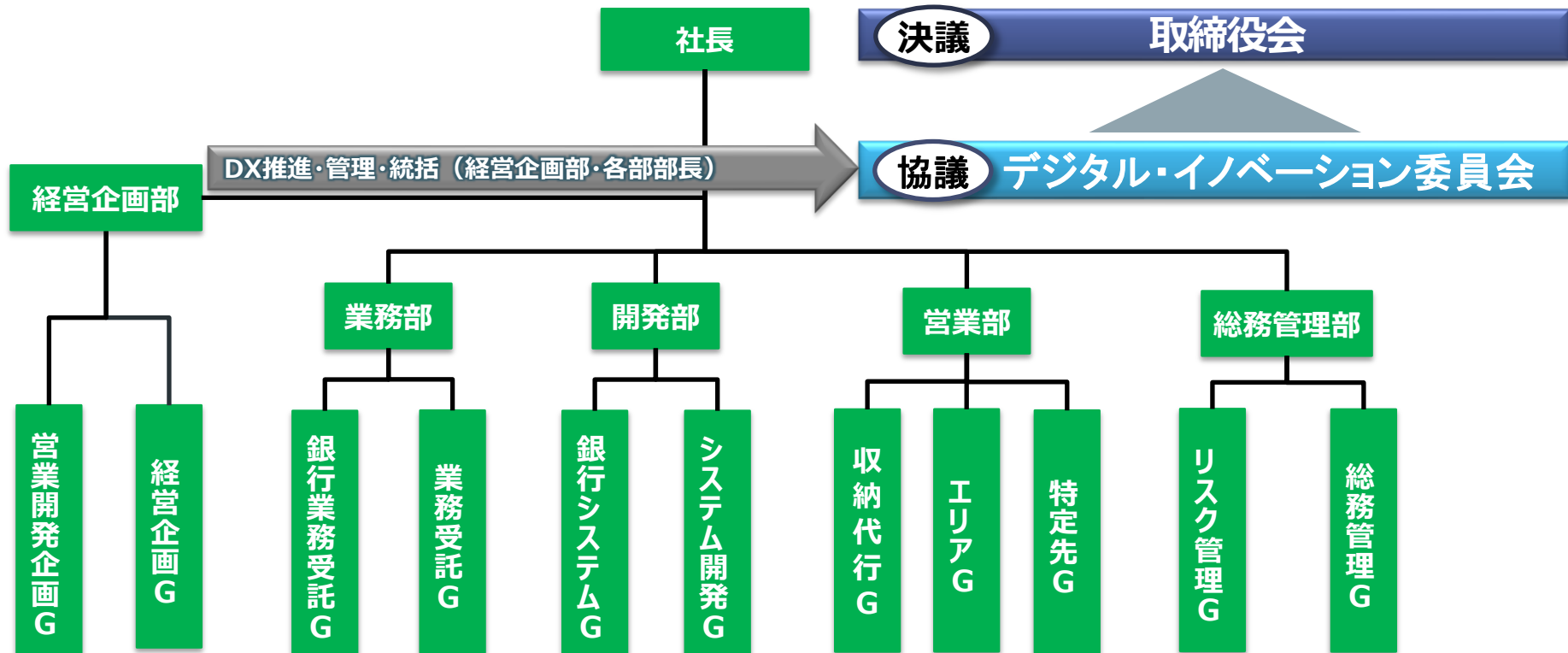
- ・社内業務のプロセス改革（パッケージ適用）
- ・RPA活用による単純事務の負荷軽減
- ・インサイドセールス拡大による商談件数向上
- ・契約書電子化推進によるペーパーレス化

業務運営力強化

- ・営業管理計数の自動取得化
- ・プロジェクト管理の数値化
- ・リスクマネジメントの徹底

4. DX推進態勢 (1) 体制図

- DXに関する方針・戦略策定・進捗管理等を行うために、代表取締役を委員長とする「デジタル・イノベーション委員会」を設立しました。
- 経営企画部にて、社内横断的にDXを推進し、全体最適化を図っております。



- DX推進人材を定義し、資格取得・研修受講を推奨します。
- 2023年度までに70名のDX推進人材の育成・登用を目指します。

DX推進人材の定義

プロデューサー DXやデジタルビジネスの主導	ビジネスデザイナー DXの企画・立案・推進等	インフラエンジニア インフラ関連構築
データサイエンティスト AI等のデジタル技術やデータ解析	ITアーキテクト DXに関するシステム設計	バックオフィス ITを活用した事務遂行



**2023年度
目標**

各分野における推奨資格取得者：70名（50%）

※現状の取得者数27名

※増員した場合も50%の取得率を目標とする

4. DX推進態勢 (2) DX推進人材②

- 必要なスキル習得に向け、積極的な人事異動や研修派遣等を実施します。
- 外部人材の通期登用を含め、DX推進人材の重用を促進します。

	プロデューサー	ビジネスデザイナー	インフラエンジニア	データサイエンティスト	ITアーキテクト	バックオフィス
スキル	ディスラプティブ発想 マネジメント力 PJ完遂力 リスクマネジメント	アイデア発想 社内外調整力 ファシリテート力	インフラ設計 セキュリティ知識 ネットワーク知識 サーバー知識	プログラミング データベース知識 統計学	要件定義 マーケティング知識 アーキテクチャ設計 セキュリティ対応	課題ヒアリング IT基礎知識 知的資産管理
推奨資格 抜粋	ITストラテジスト プロジェクトマネージャ	ITコーディネータ	NWスペシャリスト 情報処理安全確保 支援士、CCNP	DBスペシャリスト G検定・E資格 統計検定	システムアーキテクト 応用情報技術者 ウェブデザイン技能検 定 2級	ITパスポート 情報セキュリティマネジ メント
主要 配置	経営企画部 開発部	経営企画部 営業部	開発部	経営企画部 営業部	開発部	総務管理部 業務部 営業部

※推奨資格は抜粋であり、ITSSの基準をベースに定義する。

- 2021年11月本社移転を契機に最先端のオフィス運営を目指し、価値提案の変革を実現する各種システムインフラを整備していきます。

項目	DX方針
デジタルプラットフォーム構築	環境変化に対応したサービス提供基盤整備
働き方改革対応	ワークスタイル変革・自動化推進（RPA）
業務効率化推進	電子契約・経費精算・コスト削減

項目	現状課題	DX推進施策	目標
デジタルプラットフォーム構築	レガシー資産増大、設計・開発・運用・保守にかかる負荷増大	デジタルプラットフォームを構築し保守運用費削減（SaaS、ASP、API）	開発効率/人 30%アップ
働き方改革対応 (営業スタイル変革)	①案件管理の実効性向上 ②成功事例の情報共有	①営業支援システム導入 ②BIツール導入	1人当たり売上 50%アップ
業務効率化推進	①紙ベースの作業多数 ②お客様の手書き負担	①収納代行システム更改 ②電子契約導入	コスト削減▲15M

➤ 第8次中計より主要なDX推進指標を抜粋しております。

項目	指標	2020年度実績	2023年度
新たな体験・サービスの提供	新規事業サービス（SaaS型等）の売上高	—	440百万円
	新規事業サービス分野の研究開発（R&D）要員増強	0名	7名
	新規商品・サービス創出	—	20件
プロセス変革による生産性向上	インサイドセールスの拡大（交渉件数）	0%	30%
	契約書の電子化	なし	60%
	各部業務フロー見直しや働き方改革によるコスト・時間外労働の削減	—	▲15百万円
	DX推進人材の育成	27名	70名

➤ DX自己診断に従った推進指標を設定しております。

項目	施策	KPI
総合指標	DX推進指標（平均値）	3.0 （現在1.1）
危機感とビジョン実現の必要性の共有	新商品WGの活動を強化し、社内に情報発信を行う	毎月報告会を実施し、社員共有を図る
挑戦を促し、SPDLI経営サイクルを推進	プロジェクト・プロセスの評価指標 確立	2022 / 4
推進サポート体制	デジタルイノベーション委員会設置	2021 / 8
ガバナンス・体制	社内規定（決裁権限等）の改定	2021 / 11

以 上